

TAKE FREE

Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study

vol.1
2022

答えのない問いに立ち向かう、湖東高校探究プロジェクトチームが発行する新聞

PICK UP フェアトレードとは

貧困のない公正な社会を作るために、途上国の経済的社会的に弱い立場にある生産者と経済的社会的に強い立場にある先進国の消費者が対等な立場で行う貿易です。適正な賃金の支払いや労働環境の整備などを通して生産者の生活向上を図ることが第一の目的です。



く物事を解決するために必要なテクニックだと学んだ。バナナの題材ではそれぞれの役職がどの部分が大切で、どの部分がコストカットできるのか、どの部分が妥協できるのかなどグループ内で言い合う前により深く考えておくことが大切だと思った。フェアトレードに関しては今はスーパーなどの身近なところでもフェアトレード商品を手にとって買うことができるので言うだけでなく視野を広く持って自分できることは小さなことだけだが、だからこそ継続して取り組むことができるのではないかと思った。(Y.A)

FEAUTURE 特集

多様性・フェアトレードとは！JICA国際理解ワークショップ

今過ごしている環境や日々の生活の中でも改善点はたくさんあって、そのどれもが一人で解決できることではないからより良い状態に持つためには多くの人の協力が必要だということ。小さなことから変えていく必要があるということに気付いた。現状に満足して何もしないでしたら当然何も変わらないので、なにか一つでも気付いた瞬間から行動をしなければいけない。意見を交わすときは人の数だけ常識があることを強く認識して個人を否定するような言葉にならないか考える。(H.K)

今まで「フェア」という単語は常日頃の生活の中で耳にしたり、口にしていたりしたが、今回フェアな社会について考える時にいつも使ってい

るはずの単語なのにもう一度意味を考えたり、逆に意見を出していくとアンフェアなことの方が多いことに気づいた。多文化共生について講師の先生が言っていたのが印象に残っていて「多文化共生は国籍や民族などの異なる人が、互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、他地域社会の構成員として共に生きていくこと。と書いてあるが、(最初の国籍や民族など)の【など】という言葉の中にはLGBTの人のことなんかも含まれている。決して国と国との間にある問題ではない」という言葉が印象に残っている。大きな問題に取り組む時に1つの問題として向き合ってしまうと大変だが、細かくして考えたりすることが上手

フェアトレード自体は1950年代からあるにもかかわらず、70年たった今でもあまり認知されず、今現在も苦しんでいる人が大勢いることに少し疑問に感じ、もう少しメディア等でも紹介したらどうなのかと思った(今までテレビやネットニュースでフェアトレードについての記事を見たことがないから。)

近年は外国人の偏見は徐々に減っていると感じています。しかし日本ではそうだと他国では外国人だからという理由だけでなく、同じ国の人でも元軍人だからという理由で貶されたりしているそうです。そのような現状を私たちだけで変えるというのは到底不可能に近いと思いますが、知っているのと全く知らないのでは少しでも違うのではないかと思います。多数派と少数派のカードの交流をしたとき、少数派側になっ



た人からは「みんなと違うことをして
いてとまどった」「思わず多数側の方
と同じ動きをしてしまった」と言っ
ていました。小学一年生の子は授業
の時、たくさんの方が手を上げる光
景がよく見られたけれど、徐々に減っ
て誰も手を上げなくなってしまいま
す。これも自分が多数派の意見なの
か少数派の意見なのか不安になるか
らだと思います。そう思うようになっ
た原因の一つに学校で「違う意見≠
良くないこと、気まずくなること」
と実感したからではないでしょうか？
自分も同じような経験をした一人
ですが、そういう人を減らすため
に、学校で「ブレーストミング」
を多く取り組むべきだと思いました。
福島さんがおっしゃっていましたが「
言葉では何とでも言える。ただそれ
を行動に移せる人がほとんどいない」
と。自分もそうはならないようにし
ないと・・・

次に8月28日にオンラインでコー
ヒー農家のセミナーに参加する。
Amazonでフェアトレードのコー
ヒー豆があったら買ってみる(K.H)
講座を受ける前はフェアトレードと
いう単語だけを知った状態でした。
フェアとは平等、多様性などの意味
を示していて、色んな考え方があっ
て良い、いわゆる今総合の授業で勉
強している内容なども勉強出来まし
た。浜松はフェア推進都市だそうで、
バナナ農家とフェアトレード団体が

協力して農家にそれ相応の金が入っ
てくるシステムなどがあります。ま
た、フェアトレード商品は身近なと
ころで買うことができます。フェア
トレードマークを探して少しでも貢
献したいと思いました。(T.W)
多様性を理解し尊重することが大切。
互いに尊重し合うことで良い関係を
築くことが出来る。自分と異なる価
値観を持つ人とはしっかりコミュニ
ケーションを取ることで相手の価値
観を理解する事に繋がる。(K.S)
多文化共生社会を構築していく中で、
マイノリティである人がマジョリテ
ィを意識して合わせるのではなく、
互いに思いやりを持ち、マジョリテ
ィである人が当たり前のことを当た
り前だと思わず相手の気持ちを考え
ることの大切さを知りました。「ちが
い」を批判するのではなく受け入れ
ることも大切だなと感じました。ブ
レーストミングを行うことで自分
とは違った意見を持つ人との意見
交換もできるし、「こんな考え方があ
ったんだ。」など、新たな発見につな
がるので考えを共有するときに必要
だなと感じました。誰もが生きやす
い世界にするために一人一人の意識
や行動が欠かせないなと思いました。
今回学んだ事を理解して終わるの
ではなく、周囲に伝えること、今の世
界の現状を多くの人に知ってもらえ
るように自分たちから情報発信をし
ていかないといけないなと思いまし
た。また今までと同じ視点で考える
だけでなく他方から考え様々な意見
を持つことを意識してこれからの活
動に参加していきたいです。(R.I)

EVENT

子ども学習支援始まる！

8/20 社会福祉協議会の方を招い
て勉強会を行います。なぜ子ども
の支援が必要なのか、じっくり考
えます。また志を共にする湖東高
校生が集まり、自分たちにできる
ことを模索します。

さらに

- 運営方法
 - 準備すること
 - 生徒の募集方法
- などについても話し合います。

COMMENT 担当から

「フェア」といえばスポーツの「フェア
プレイ」を思い浮かべます。また
フェアでない戦い方は認められま
せん。服を引っ張ったり、足をひっ
かけたり、さらにファウルしてい
るのに知らないふりをする。本当
に強い人はそんなことしなくても
結果を残せるはずだし、他人を蹴
落としてまでのし上がるのは、場
合によってはあってはならないこ
とです。しかし、私たちは知らない
だけで、本当はフェアじゃない
戦い方をしているのです。さらに
多数派だから「かわいそうな人た
ち」を助けて優越感に浸る。私た
ちが食べるために、牛や鳥を殺し
てくれる人たちがいて、私たちが
バナナを食べるのにたいへんな思
いをしている人がいる。もう高校
生なのだから無視はできないし、
どうせ戦うならフェアな戦い方を
したいと思うのです。そんなこと
に気づかされる研修でした。